


教材事例書式

教材教具名 「覚えよう！」	教科 (自立)	
<p>教材教具写真</p> 		
<p>教材教具の概略 (ねらいと使い方) ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等</p>		
<p>1 ねらい</p> <p>自力通学を目指し、公共交通機関を利用中、予想外の事態に遭遇したときに自宅の住所や電話番号、学校名などを誰かに伝えたり、答えたりすることができる。</p> <p>2 発達段階など</p> <p>日常会話が可能である。身辺自立もほぼできている。学習面は小学2年生程度で、文章を読むことが苦手であり、読み方がたどたどしい。</p> <p>3 使い方</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①提示されている質問を読み、答える。</li> <li>②質問に大きな声で答える。</li> <li>③ページをめくり答えを確認する。</li> <li>④①～③を繰り返す (名前・住所・電話番号・学校名・学年・父母の名前)。</li> <li>⑤一通りすんだら、チェックシートに日付と○を書く。</li> </ol>		
<p>児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等 (次に利用する方のために)</p>		
<p>○ 最初はうる覚えで何度もいい間違いをしていたが、回数を重ねるごとに間違いなくなった。</p> <p>○ 繰り返し行うことで、教員の質問に答えることができるようになってきた。</p> <p>※ 質問とは、「〇〇くんの住所を教えてください。」「〇〇くんの学校はどこですか？」など。</p>		